

手芸倶楽部新聞

2015年
2月10日号
第23号



新メニュー紹介

今回のフラワーアレンジメントでは、新兵器のグルーガンが登場。これは、プラスチックを熱で溶かして、接着剤として使うもので、速乾性に優れ、しっかりと付き、何度でもやり直しが出来る所が優れています。アレンジする土台の紙に、レースやリボンを巻いて、このグルーガンで留めるだけで、雰囲気ガラリと変わります。また、今回は離人形を花の上に乗せましたが、これもグルーガンで留めました。飽きたら外すのも簡単にできます。とても熱くなるので、グルーガンの操作は職員で行いますが、安全に気を付けながら、これからのたびたび登場させ、より「手芸」らしいフラワーアレンジメントを作っていきます。ご期待ください！

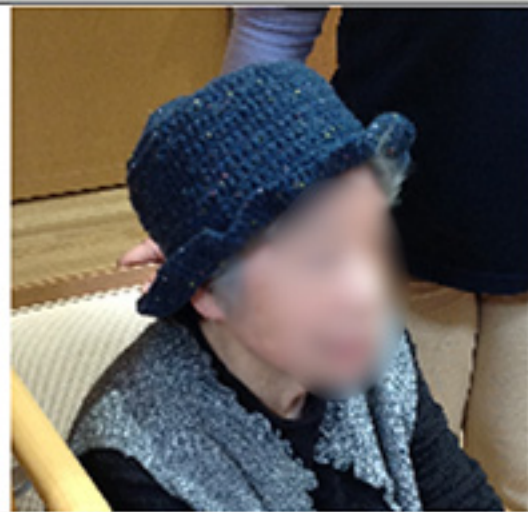
伊藤機能訓練指導員より

まだまだ寒い日が続いていますが、菜の花と桃の花のアレンジメントを見ると、春が近づいていることを感じます。七段飾りのお雛様とよく似合っていますね。

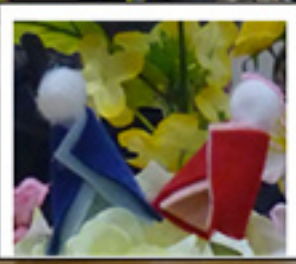
またまだ寒い日が続いていますが、菜の花と桃の花のアレンジメントを見ると、春が近づいていることを感じます。七段飾りのお雛様とよく似合っていますね。



また、ご利用者様が年末に仕上げた子供用エプロンを、職員の子供にプレゼントする場面もありました。頂いた職員も思わず大感激！子供を連れてお礼にあげられました。エプロンを仕上げたご利用者様も、実際に着用して動き回る、かわいらしい姿をみて、とても喜んでいらっしゃいました。これぞ裁縫の醍醐味ですね。



一月二十一日と二月四日は、手芸倶楽部・裁縫の部が活動しました。二階青ユニットのフロアをお借りして、編み物、刺し子、折り紙等、思い思いの作品を、ゆっくりにあげていきました。こつこつ編んで帽子を仕上げた方もいましたよ。あったかそうですね。



手芸のコツ

普通の手芸サークルのように「今日はこれを作りましょう！」と皆同じ材料をそろえて、横並びに作業をしていることは、高齢者の場合とても難しいです。色々な作品を用意し、興味を持って下さったものをお勧めし、その方に合わせたレベルで作って頂くのが、桜園の手芸倶楽部です。全部は作れなくても、一部が仕上げられれば、達成感を得られます。それが自信に繋がります。まずは好きな物探しからスタートです。個別相談、随時承ります。

編集後記：「あまり、大勢が集まる場所に行きたくはないようだ」と何っていた、あるご利用者様。お部屋で、静かに一人で過ごされるのを好まれると聞いていたので、私も特にお願いはしませんでした。しかし、先日伊藤 OT の働き掛けで、ふらりと手芸倶楽部に参加。最初は刺し子を楽しんで帰られました。あまりの上手さにびっくり。自立度の高い方なので、しつこく誘ったりはしなかったのですが、それから同ユニットのお仲間を連れて月に三回お顔を拝見しています。フラワーアレンジの時は、楽しそうな笑顔、他利用者様とのおしゃべりも見られました。これからはすすんでご参加いただけるような、楽しい場を、提供していきたいと思っています。

